

第2回竜王地区地域審議会 会議録

■日時：平成21年11月27日（金） 午後1時30分～3時15分

■場所：甲斐市役所 竜王庁舎4階 理事者控え室

■会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 企画部長あいさつ
- 4 協議事項
 - ① 竜王駅周辺整備事業完成に伴う多目的利用について
- 5 報告事項
 - ① 国の補正予算に対する甲斐市の対応について
 - ② 竜王庁舎増築事業について
 - ③ 双葉スマートインターチェンジについて
- 6 その他
- 7 閉会

■出欠席者

- ・出席委員【6名／8名】
- ・欠席委員【2名】 ※渡邊委員、鶴田委員
- ・事務局
小田切企画部長、市川企画課長
企画課総合政策担当：石合リーダー、石原、伊藤
小宮山総務課長

議録

1、開 会

【企画課長】

定刻前ではございますが、皆さんお集まりいただきましたのでこれより第2回竜王地区地域審議会を開催いたします。会議の前にあいさつを交わしたいと思いますので、全員ご起立をお願いします。

「相互に礼（こんにちは）」

それでは、最初に天野会長あいさつをお願いします。

2、会長あいさつ

【会長】

皆さんこんにちは、お忙しい中とは思いますが、今年も平成21年あと1ヶ月少して新しい年を迎える訳でございますけれども、この中で地域の皆さんにどれだけ浸透して、ご理解いただいている部分があるのかなあというところからみますと、広報その他におきましても、あまり皆さん方はそういうところに熱心に目を通して市の行政の動きとか、状況を把握してる方は少ないようでございます。そういう中で私たち地域を代表しての委員であるということを認識していただき、少しでも多くの人に語りかけていただきたい。私も機会があるごとに、例えばこれから12月に起工式が行われます、現在進行中の庁舎増築の内容につきましても、逐一細かく市の行政を追い越すことなく平行にしながら話を進めているつもりではありますけれども、それでもあの空き地はどうなったのかという質問がくるということで、関心を持っている人は持っている、だけど空き地になって新しい政党になったからお金が廻らないのかとかというご意見もあり、いろんな巷の発言があるわけですが、私たちはそういう言葉に左右されずに、審議していくことは審議していくという形で押し進めていくことが大事であります。また、地域から盛り上がってきておりますいろいろなご意見等もいただければありがたいと思います。地域審議会のためにご尽力いただけますことをお願い申し上げあいさついたします。

【企画課長】

ありがとうございました。続きまして、企画部長あいさつ。小田切部長をお願いします。

3、企画部長あいさつ

【企画部長】

皆さんお忙しいところご苦勞様でございます。今回は地域審議会第2回目でございます。合併をして5年が経過をいたしました。すでに委員の皆様も御承知だと思いますが、先般の広報には、甲斐市の合併についてのアンケートでは、合併して良かったのかどうなのかというアンケート調査では、竜王地区では半数以上の方が合併をして良かったという回答でありました。敷島は50パーセント弱、双葉はそれよりも悪く4割近い方が合併して良かったという結果でございました。合併して5年が経過をする中で、委員さんにはそれぞれの分野でご協力をいただく中でご尽力を

いただいている訳でございますけれども、今後この審議会の中で、竜王地区5割を超えていても10年後にはより大勢の方が合併して良かったと思われるような施策の展開をしていかなければならないと考えております。

最近国では、無駄を見直すため事業仕分けを行っておりまして、国民の関心が高いところであり、毎日テレビ新聞等で報道がされておりますけれども、甲斐市におきましても、来年度の当初予算編成という時期を迎えております。そんな中で地方への影響がどんなふうになろうかと心配しているところでございます。22年度の予算要求にあたりましても、市民の方々に対するサービスの向上に重点をおいて施策を展開していかなくてはいけないと考えております。

本日は、協議事項として一点でございますけれども、来年の3月に完成をします竜王駅の関係で、南口、北口の広場が完成をいたしまして、一応竜王駅の周辺整備事業はこれで終結するということですが、これが完成した後、どんなふうに駅を市民に利用していただくのか、ということについてご協議いただきたいと思っております。

また、報告事項では、三点ほどでございますけれども、また事務局から詳細に渡りまして説明を申し上げますが、よろしくご審議いただけますようお願いを申し上げます。簡単ではございますが、あいさつに変えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【企画課長】

ありがとうございました。それではここで、欠席委員のご報告をさせていただきます。民生委員の渡邊委員さん、それから農業委員会の鶴田委員さんが欠席という連絡が入っております。

それでは協議事項に入る前に、本日出席している職員を紹介したいと思います。今あいさつをした小田切企画部長です。次に報告事項の竜王庁舎増築事業の関係で担当の総務課長の小宮山課長です。次に事務局の担当リーダーの石合です。石原です。伊藤です。最後に私が企画課長の市川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、4番の協議事項に入りたいと思います。それでは会の進行につきましては、天野会長にお願いします。よろしくお願いいたします。

4、協議事項

【会長】

その前にちょっとお聞きしたいんですけども、名簿欄に公募2名で、実際は10人で構成する地域審議会ですけれども、公募について状況を教えて下さい。

【企画課長】

公募については、5月の中旬から6月の中旬にかけて、広報及びホームページで周知して、それぞれ地区ごとに3地区、公募という形で掲載をいたしましたけれども、竜王地区については、公募は1名ありましたが、公募にあたり、甲斐市の将来にあたっての考え方など作文を添付していただきましたが、地域審議会の委員さんとしてふさわしくない面もございましたので、決裁の中で公募人は0人という結果になりました。

【会長】

公募が一人は少ないですね。4万人いるなかで一人ですからね。

【企画課長】

最近では、公募制をさまざまな審議会、委員会とっておりますので、徐々にこういった一般の市民を公募して、市民との協働参画というものが望ましいということで、この審議会もそれぞれ10名中2名公募をかけたわけですが、いま言った状況でございます。

【会長】

それでは、ご指名いただきましたので進めさせていただきたいと思っております。まず協議事項の①竜王駅周辺整備事業完成に伴う多目的利用について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

(資料により説明：P1～6)

この駅は、世界的に有名な安藤先生が設計したということで、この駅の特長として、一点目として、北口開設に端を発して事業が進展して参りまして現在の形になっているということでございます。二点目としましては、世界的な建築家安藤忠雄氏による設計、話題性、芸術性等があると思っております。特に三町の結びつきを『かすがい』というモチーフを基に立体化したという構造になっております。三点目としましては、周辺道路及び上下水道などの公共投資、面的整備が行われているということでございます。民間企業等が周辺に進出しやすい環境づくりを行ったということが言えると思っております。四点目としまして、公共性、これにつきましては、駅本来が持つ役割という認識でございます。五点目としまして、駅を拠点として広がる様々な結びつき、地域、環境、人々の結びつきなどが考えられるということでございます。これらの駅並びに広場等を多目的に活用することによりまして、話題性の提供に繋がっていく。これにもなって人々が集う、集うことによりまして、地域の活力向上に繋がっていくという展開を目指していきたいと考えております。現在の市役所内の状況でございますけれども、リーダークラスを中心といたしまして、竜王駅多目的活用研究会を発足して、どんな形で利用したらよいかという検討に入っております。本日は地域を代表いたします地域審議会の皆様のご意見をお聞きいたしまして、研究会に反映して参りたいと考えております。

【会長】

ただいま石合リーダーより説明等を受けた内容につきまして、委員皆様からご意見、ご要望等がございましたらお受けしたいと思います。

【委員】

いま南口の三角の駐車場のところで朝市をやっていますが、これはこの中の目的に入っていま

すか。

【企画課長】

これは入っていません。

【委員】

使うことはできませんか。

【企画課長】

三角の所は今回の区域に入っておりません。今回の区域はあくまでも甲斐市の所有地ということでロータリー部分でございますので、定期的に青空市をやるとかではなくて、不定期にイベントをしたりですとかという内容で使うんですけれども、通常はリーダーが説明しましたように、バスプール、タクシープール、障害者用の駐車場、自転車駐輪場、短時間の駐車場という内容ですので、このような内容も含めてどんなことができるかアイデアをいただきたいということですから、ここの一角に建物を建ててずっとここでアンテナショップみたいな方法は考えてませんけれども、定期的ではなくて不定期に季節の内容のアンテナショップ、特産品の売り場とかは市でも考えておりますけれども、委員の皆様方からいいアイデアがあれば出していただきたいと思えます。

【委員】

いま商工会としてちょっと意見集約をしているところではありますが、朝市ということではなくて特産品をやりたいんですよ。たとえば双葉の桑のみジャムを置いたり、ワインを置いたり、竜王の方でもいろいろお菓子を作ったり、いろいろしていますから、また季節ごとに果物とかそういう物もありますし、それと南アルプス市で桃とかさくらんぼもできたら一緒にそういう特産品の中に入れさせてくれないかという希望も来ています。ぜひそのコーナーだけはこの地域の特産品ですから、なんとかスペースを確保していただければありがたいと思えます。

【企画部長】

この建物は先ほどもお話しましたとおり安藤先生が設計をしましたが、いま現在工事中で実際その使い勝手が現実仕上がった後にどんなふうになるのか目に見えない。しかしロータリー部分は道路ですから無理にしても、休みの日に駐輪場とか短期駐車場とか利用して臨時的に季節ごとに、特産品市というものができるとかどうなのか検討していかなければなりませんし、委員さんがおっしゃられるようにそういう要望もありますので、そういうものが実現できるような形にもっていくにはどんなふうな工夫をしていけばよいのか、それもまた市の方で考えさせていただきたいと思えます。

【委員】

いろいろなものを含めた中で検討をお願いします。

【会長】

深沢委員さん先ほどの質問の内容につきましてよろしいでしょうか。

【委員】

考えてない、できないってことですね。

【企画部長】

常設では無理ですけれども、そういう意見がありますので、いまの状況で使い勝手にその形がとれるのかどうなのか、常設ではなくて臨時的に出来上がったときにどのようにすれば使えるのかという工夫もできれば市で考えさせていただいて、臨時的に特産市、朝市というものができるともっていければなと思っています。

【委員】

中村委員さんと重なりますが、私たちが友達から同じことをよく耳にします。いまの目的が話題性を持って人々が集う公共性を重んじながら人々が集うっていう目的ですから、この本当に変わったおしゃれな駅を楽しみにしているんですが、ぜひ定期的ではなくて常設店、以前の駅には神戸パンが入ってちょっと喫茶みたいな感じでコーヒーも飲めるようになってきましたね。常設で物産館、山梨県の物産館が日本橋にあるようにオーバーですが、この竜王駅は甲斐市の人ばかりではなくて、これから極端に言えば身延の方の人たちも利用するようになると思うんですね。南アルプス市もですね、ですからぜひ常設の物産館とちょっとお茶が飲める場所、わざわざ行ってみたくなるような、そういう場所をぜひ考慮して欲しいと思います。

【企画部長】

分かりました。また担当課のほうには、審議会ですらそういう意見があったと伝えます。伝えますけれども現状こういう形で工事を進めてますので、この中にとりあえずにはいきませんから、この周辺でどうなのかとか、常設となりますとそういうことも検討していかなければならないということですから、そういう意見があつて強く要望がありますということは伝えておきます。

【委員】

久保田さんからそういう意見がでましたので、これをみるといま説明があつたように多目的利用といっても広場だけにして考えるのか、久保田さんから出た意見のような、たとえば街のいろんな情報を駅に行っている人が得られるようなところが欲しいっていう思いがあつたんですけど、いま言っていたのが広場だけだから、建物とか固定された情報を伝えるような、掲示板くらいならあれなんですけど、私が思っていたのは子育て支援というんじゃないけど、だめだったら情報だけでもいいんですけど、ちょっと出掛けるときに頼めるとか、そういう場所があつた

らいいなど、あと情報を得る場所、交流ができればいいなっていう思いがすごくあったんですけど、これを見たとき広場だったんで、多目的利用って言っても、さっき深沢さんがおっしゃったような青空市とかそういう外のイベントとか、不定期な催し物を考えないといけないのかなって思ったんですけど、そうではない意見でもいいってことですか。どっちを考慮してイメージして利用のイメージを膨らませて案を提案してつたらいいのかなって、さっきお聞きしたとき思ったんですけども、後先になってすみません。

【企画課長】

イメージ的には平面的な広場には、部長が言ったような常設的な建物は建設しないということですから、不定期なイベント等の開催が考えられます。それともう一つ北と南の広場を結んでいる南北自由通路がございますけれども、幅6メートルくらいあるのでその中で、たとえば展示とか幼稚園のイベントとか、また広場の方は、たとえば甲府駅前で信玄公祭りをするときには駅前が全部閉鎖されてますよね、そういった大きなイベントをこのところでやるということであれば、ここは車を一切乗り入れはさせないということも市の所有地ですからできるわけです。そういう大きなイベントから始まって、今深沢委員が言いましたような特産品を月に1回や2回売るとか、不定期な内容、また保育園とか幼稚園の園児が鼓笛をすとか、そういった内容がありますので、子供を預けてもらえるサポートセンター的な部屋というのはまず無理だという内容で、いわゆる外に向けて配信できるような内容、もう一つはここを出発する、終点にする、通過点にする、というような歩け歩け運動とかというイベントでもいいわけですが、竜王駅を何かの形で出発でも、終点でも、通過点でも、このところでも何かやるのもいいし、週に何回やるのもいいし、そういったいろんな考えられるアイデアをいただきたいということです。

【事務局】

参考までに、駅と自由通路が完成してからの、駅並びに周辺に関して行われた実績ということをご報告させていただきます。商工会が主催いたしました甲斐市ちいさな旅というウォーキングを2回、それからJRの主催で駅からハイクという駅と駅を歩いていくということですがこれも2回開催をしております。それから映画のロケを1回実施しております。それから県立美術館、文学館との連携ということで相互の施設を有効的に使いながら地域の人々の芸術活動を振興していこうと目的の調印をしております。それからすでに行われています南側のスーパーの跡地で朝市が開催されている状況であります。参考にしていただければと思います。

【企画部長】

田中委員さんがおっしゃられた子育て支援の関係の施設ということで、この駅を作るときアンケート調査を何回かさせていただきましたが、その中でいきますと南口の方には乗降者数も多いということもあってコンビニ等が欲しいという意見がたくさんありました。コンビニは市でできませんから民間で空いている所を今後事業展開される方があればしていただきたいと思っておりますし、もう一点は子育て支援の関係で駅前保育、保育所は、東京ではそれだけの乗降者数がありますか

ら通勤がてら子供を預けて電車で通勤されるということですが、甲斐市の場合一日の乗降者数が5千人と、その中で何人いるのかということもありますし、それについても検討してみましたけれども、駅の北口の中央道のすぐそばで私立の保育所を開設したいという計画がありまして、それがいま進んでいますので、駅から遠くないですし、そういう点からしますと民間活力である程度改善できるのではないかと考えているところです。

【会長】

いろいろな意見はありますけれども、私の地域活性化ということになりますと、甲斐市特に竜王地区は商工会が元気にならないと竜王地区は火が消えたようなものであり、今日は商工会の会長さんも見えていますので、駅前の開発については、商工会青年部の方も積極的に観光案内もできる施設を設けるべきではないかと、設計の時に段階で入れて欲しいという要望もあったわけですが、それは今削除されてしまったと、最初が肝心だろうなと思っているんですけども、先ほど中村さんの方から出ましたいろんな物産のイメージアップ、販売拠点になれるような、付属する形で市の施設の中に確保できればなおいいと思っております。いろんな要望等地域のみなさんがお持ちになっていると思いますので、今日はご意見をどんどん出していただいて、プロジェクトチームの方に委ねて、実現可能か不可能か検討していただきたいと思います。

【委員】

常設というか物産館というものが、設計の段階でこういうものを考えて設計したのでしょうか。このすてきな立派なドーム型の天井が、乗降客やタクシーの乗り降りの送迎のための雨をしのぐための大屋根だったら、すごくもったいないと思うんですよ。この大屋根をおしゃれな屋根を天野委員長さんがおっしゃったように物産館とか常設店、ちょっと憩える場、イベントをして人が集まっても喉を湿すところもない所だったら、最初は話題性で人が集まっても、何の集まりや会議でも口に物をすると人が集まったり憩えるという、ぜひそれを押し出して欲しいと思います。

【企画部長】

担当のまちづくり推進課にはそういう意見が多く委員さんからあったということを伝えておきますけれども、工事もこういう形で進んでいますし、これに変更を加えてどうこうということはできませんから、当時駅舎を作って、自由通路で南口北口が行き来できるということが主体であった訳でございます。当時駅舎を作る時には、甲府と違って乗降者数もそれ以外の利用者も考えた場合、駅ビルという形は考えなかったわけです。それにすれば莫大な費用もかかりますし、そういう中で進めてきた事業ですけれども、広場についても当初の市の考え方は、今多いのは自転車です、その駐輪場に屋根をかけてやらなければどうにもならないということで、以前あった竜王駅の駐輪場の屋根というイメージでいたんですけども、安藤先生がこれだけの駅舎を作ってくれましたので、屋根についても安藤先生にお願いしようという経緯が大屋根に発展していったということございまして、そのときの議論の中では、その店舗等市や民間の団体の常設店などという考えはなかった訳なんです。しかし今になってはもうこういう形で工事が進みますから、

こういう形で完成していく訳ですけれども、意見があったということはお伝えして、周辺に常設店みたいな形で作れるのかどうなのか、検討できるのかどうなのかについては担当課の方に伝えておきます。

【委員】

今部長さんがおっしゃった経過だと思いますけれども、商工会としては、大屋根の南側の方を市でも手をかけたんですが、あそこを全部買収してテナント的なものとか、イベントのできるものを市の所有地としてやろうと手をかけたわけですが、我々も応援しますよと言ったんですが、地権者が多いものですから不可能だということで諦めたんですね。今北口の方は、商工会としては、いまおっしゃってる託児所の所ですとか、観光案内所というようなものもテナントの中へ、あそこへテナントという話も出てきてますから、その中へ入れたら入れようじゃないかと考えております。それからもう一点、南アルプスの商工会で、市長もできるだけ早く来たいと言っているのですが、シャトルバスを入れたいという希望があるんですよ。南口にシャトルバスを乗り入れたいという話も具体的になってくると思いますけれども、要望を聞けるところは聞いていただいて、協力をお願いいたします。

【会長】

中村委員さんのご意見の中に、おそらく竜王の駅は一日の平均乗降率が6,000人から6,800人に伸びることによって、全ての特急を竜王駅発が可能になるという数字もいただいているんです。そういうことになりますとJR八王子の支社に対して竜王の駅長の方から要望が強まってということになると、竜王駅周辺の開発はめざましくなってくると、特に南アルプスの方にご協力いただきたいのは、竜王駅を使っただけの乗降客になっていただきたい。今中村委員さんが言ったようにシャトルバスを運行したり、それはプラスになるわけですから、ぜひ積極的にご意見を交わしていただきたいなと思います。

【委員】

まだ工事中に竜王駅がこうだということをニュースで、実際には電車に乗ることは少ないんですけれども、どういうふうに出てきたのかなと思って電車に乗るときに見ますけれども、先ほど乗降者5千人ということだったんですけれども、だとしたら駅にこれだけのお金をかけたとしたら、もっと市民がそこに行って、たとえば見ようっていうような、利用しない人でも一度は駅に行こうっていう気持ちを起こさせるようなことを考えていかないと、使わないのにあそこにあんなものを建ててというようなイメージに繋がるのは良くない。利用しなくても駅に行けばこういうものが見られるよ、物産でもそうですけれども、電車を利用する人は忙しいのでまちの情報を得られないとか、いまの子育て支援のこともそうなんですけれども、駅の中にまちの新しい情報とかいろんな情報を得られるところがあったらいいなって思います。利用しない人でも、たとえば朝市が定期的にかかれるからウォーキングで行ってみようとか、企画を考えていかないと、あんな屋根は作ったけれどもどうなんだろうみたいなイメージの方が強くなり、たとえば建物が

あって利用しなくても利用したくなるような竜王駅を、そういうようなところへ変わるのかなという思いがすごくあったんですけども、常設的な駅ビルみたいなものは無いわけですから、この広場をいかに活用するのかなというのは、すごく重要なと思います。実際にウォーキングで行こうかなという人もいるかなと思うんですけども、その辺のイベントって考えて良いのか、ここに行くところだよってイメージづくりを、ただ有名な人が建てたっていうのは正直言って市民として暮らしていると1回切りで、もっと強いインパクトで甲斐市の住民としてここに駅があって良かったというものを考えていかなければいけないかなって改めて思いました。

【企画部長】

出来上がってみてですね、96億という事業費を使いながらあれだけのものを作ったわけですから、その造っていく過程の中で近代的な駅舎、このものについては知っている方はあの安藤忠雄先生という建築家をご存じだと思います。長い年数の中でそういうものが歴史遺産となっていくわけですよ。当時昔のそういうものが歴史遺産として受け継がれてきている、そういうものが将来的にはあの建物が歴史遺産となっていくということもあるかもしれません。そういう点からしますと、市民として誇れる駅にしていくということですから、それをどういうふうに、いろいろなアイデアを出していただいて、あの駅をいかに活性化させていくかというのは職員だけでは無理ですから、市民の皆様の意見も聞かなければならないということも考えてますし、先日新聞にも発表されましたけれども、市長はこの竜王駅を芸術の森に美術館、文学館がありますけれども、竜王駅を玄関口にするんだということで締結させていただきました。この駅を市民には誇りの思ってもらえる駅にしていくわけですけども、市外、県外の方々にも竜王駅を知っていただくということも大事だと思う。皆さんでいろいろなアイデアを出す中で竜王駅を活性化していくということでご協力いただきたいと思っています。職員だけではアイデア出しても限度があるんですよ、ぜひともよろしくお願ひしたいと思っています。

【会長】

そういうことですので、アイデアはいくら出しても結構ですので、その中から一番ベターなもの何かというものはプロジェクトチームに委ねるということでお考えいただきたいと思っています。

【企画課長】

今現在、南と北で来年3月に完成ということで、市でもいろんなところに要請をしていますし、今部長の方からも、県立美術館、文学館の最寄り駅は、甲府よりじつは竜王駅の方が歩いても近いわけですけどもそういう内容もやっています。竜王駅の南口北口ですけども、周りは民地になっていますから市でどうこうという訳にはいきませんが、路線バスも多く走っていますけれども、その路線バスも南口広場のバスのヤードの所に寄っていただくということも山交さんにもお願ひしていますし、先ほど商工会の会長さんからも南アルプス市のシャトルバスということで、南アルプスの会合にも私が何回か出席していますけれども、南アルプスはJR駅がないのもですから、身延線と中央線の両方をドッキングしたいということで、現在塩崎駅にするのか竜

王駅にするのか迷っているようですけれども、いずれ近々結果が出ると思うんですけれども、そうすればかなりの人が竜王駅に集まる訳ですね、皆様方からご意見が出ているように、市の方で物産の施設とか、常設の情報を発信できる施設が、隣接して建設できればいいんですけれども、今の状況は周りが民地ですから、ロータリの中にあえてまた屋根の下に建物を造ると言うことはできませんから、新たな隣接地を市がたとえば購入して物産館みたいなものを建設するというのは、また次の段階なんですけれども、今現在市の方でも市内の循環バスですとか観光の循環バス、それを来年の1月中旬くらいから走らせたいという計画をもっておりますので、今以上の人の交流が図れますので、そういった方々が駅に来れば、不定期だけれども朝市やっているよとか、なんかそういったものが定期的にできればなということで、皆様方にアイデアをいただくということですから、今よりもいろんな路線バスが来る、いろんな人が大変来るといことになりまますから、そういう中でいいアイデアを出していただきたいと思っています。

【委員】

物産展のようなものをするのに、わざわざ新たに箱物を造らなければ展示できないくらいの屋根なんですか。雨が降れば吹き込むってことでしょうかね。

【企画課長】

そうですね。屋根は結構高いですよ。

【委員】

これを見ただけで、私たちは素人なのでどのくらいの物か想像がつかないから、意見が出せないわけなんです。それが利用できるような物ってことが自分たちがイメージできれば、こういうスペースがあるんじゃないかとか、こういうことができるんじゃないかとか理想では言えるんですけれども、果たしてできてみなければ私たちみたいな素人は、どんなものができるか漠然とした絵を見ただけでは分からなかったですね。

【企画課長】

やるとしたらですね、たとえば4ページ目にあるんですけれども、一番左に丸が5つほどありますね、この丸が樹木ですけれども、この周りが歩道という形になってますので、そのような所で、いわゆるテントを立てたりして物産展みたいなことをやることは可能だと思うんですよ。

【会長】

箱物にするってことはここでは無理ですよ。

【企画課長】

ここに常設したものを、箱物とかは無理だと思います。それをするのであれば、これ以外の土地を市が購入してそういうものを新たな甲斐市の情報発信施設みたいなことでやっていくかどうか

かってことですからね。

【会長】

ここは車が出たり入ったりする部分と、駅へ直接歩いて入る人の路地しかないですよ、私たちもこの設計についてやってきましたけれども、この屋根の下に何か造るってことはまず不可能であらうと思います。イメージ的に分からないってということではなくて、絵を見れば分かるとおりの下に収まっているわけですから、この中に何か造るってことはまず無理です。お願いしたいのは、北口は楽だと思えますよスペースがありますから、南口を見るとぎちぎちでしょ、おまけにワンルームマンションがいくつも建っている。こういう閉鎖的な広場になっているということをもまず認識していかないと、南口に何でも造るというものの考え方よりも、南口からちょっとはずれていから取り巻くような賑やかな商店街ができないとか、人の集まるような物産的なものとか、常設して豊富の道の駅のような全国ナンバーワンの道の駅だとか、そういうことによって、とにかく甲斐市や他の所からどんどん来るよっという駅前になれば立派な駅になるんじゃないかなと思えますけれども、まずこの下へ箱物とか設置するのは設計上無理ですから、ぎりぎりの状態で造ってありますから、それにただ屋根をかけたただけですから。

【企画部長】

先ほど滝川委員さんが言ったようにイメージがわからないと思えますよね。出来上がって見ないと。ここで来年の3月に完成してそれまでにこういうことをやるってことを決めなければならぬってことではないですから、いずれにしても出来た物をまた皆様に見ていただいて、委員さん達の任期は続くわけですから、その時にこういうものもいいんじゃないとか、そういうアイデアをいただきたい訳ですよ。今日、決定と言うことではないですから。

【会長】

それで、もう一つはこの南口の場合には、何のためにこの南北自由通路が造られたか、その設計がなんであれだけのオープンされた、水晶をイメージしたものになっているかですよ。これは富士山を見るためですよ。周りの全ての景色が一望できる、このすばらしい宝を失いたくないんで、私は前から言ってますけれど、駅前の建築規制、高さ規制、これをやらなかったらまったくこの駅を造った意味はなくなっちゃうんです。早急に建築の高さ規制というものを、駅舎以上に視界を遮るようなものの建設については、だめですよというような条例を早く市として考えていただかないと手遅れになる。甲府の駅前のようにあれだけビルが連立しちゃうとどこに富士山があってもどこに何があるか、お城さえも見えないでしょ、甲府の駅を降りたって。そんなふうな惨めな駅前にはして欲しくないと思ってます。私も要望でございます。会を重ねながら皆様方からいろんなアイデアをいただくということが大事だと思います。私はこの屋根の下のイメージが、もう検討の段階でいろいろやっていましたんで私自身は分かっていますけれども、皆様方にお知らせしても口では分かったような分からないような、要するに甲府の駅前のロータリーの所に大きな屋根がかかったと思えば、あの下に何も造れないということです。そういうイメージを持っ

ていただくといいと思います。

【委員】

さっきのご説明の時、駅を拠点にして人々の結びつきを考えているということですが、そういうことを考えると、ただそこを乗降するだけじゃなくて、他にも利用してこうという考えでこうということになっていると思うんですけど、この広場は普段車がロータリーになっているとしたらイベントやるときは車は入らせないってことですよ。そのイベントに来たい人はどういう形で参加するのかなって思ったんですけど、またウォーキングできる人や自転車に乗れる人はいいんですけど、そうじゃない人、車を使って来れないってことになる、難しい来れる人が限られてしまう。

【委員】

電車で来る人はいいんですけど、今は現存ある駐車場の利用とかしか確保はできない。

【企画課長】

ここの南口の駐車場16台ですけど、これは短期、短時間ということで、特急券を買いに来るとか、長時間止めると山交さんの駐車料金の方がずっと安くなります。短期であれば無料ですけど、3時間4時間くらいになると逆に民間の方が安くなると思うんですよ。1時間以内は無料です。この有料駐車場で市が儲けようとは思ってないわけですから。

【委員】

利用した感想としては、非常に冷たい駅だという感想が多いわけですから、ベンチにしても座ると冷たいなと感じる駅で、とても有名な先生が設計なさってやはりそうかなって感じですけど、トイレを探すにして、高齢の方だと探しにくい、おしゃれすぎる駅舎になっているというのは現実なんですけど、そこをいかに暖かく感じれる甲斐市が人を迎えるような駅にしていくかというのはとっても大きな課題になると思うんですね。私たちが竜王の駅を使っていくときには朝早い電車に乗って東京へ行くときに、昔のようにパン屋さんがあつたりするとそこで暖かいコーヒーを買って、パンを買ってすぐに電車に乗れたということもあるので、そういうものは最初から本来だったら頭に無ければおかしい、キヨスクではなくて、そういうものがあってよかったんだろうに、今ということで、これから先に要望が強ければ入れていかなければならないので、場所というものは今の時代いくらでもあると思います。駅の中に作っていかなければならない、そういうスペースを作っていかなければいけないんだろうなっていうことなので、担当の方へ意見を言うていただくということで、できれば担当部局が来ていればもっとよかったなというのが今日の感想です。

【会長】

このスペースが市のスペースであって、駅舎については全て駅の所有になっています。自由通

路については市の所有となっています。

【委員】

あの自由通路、広すぎると思いませんか、あそこにくらでも物産なんかも展示できると思うんですよね。

【会長】

ただそこでやったときに、窓から下でなければだめなんです。超えて物をやったら視界をゼロにしちゃう。そういうことで最初から作らない。

【委員】

目線の高さくらいでいいんじゃないですか。何か物産を並べるでも、せっかくワイナリーが2箇所もあったり、さといもの時期にはさといものを並べたりとか。

【委員】

これはワゴン風の物を並べる程度の高さならば、あの広さは十分できるんです。6メートルちょっとありますからね。ワゴンセールをできる高さでやれば眺望とかは遮られませんからね。あれからちょっと高くなっちゃうと目線から上になっちゃうから無理でしょうけれども。

【企画課長】

そうですね、季節々の催しですね、あの中自由通路ですから常設して一角を占有して毎日売るといのはなかなかできないそうですね。やはたいもができる時とか、ワインの新種ができる時とか、桑の実ができる時とか、そういうような短期間でやるというのは可能だと思うんです、ですからそのようなアイデアを出していただきたい、常設はできないけれども、通路でもできますし、下の大きな歩道を使うとかいろいろありますけれども、先ほども言われたようにどれくらいの大きさなのか、どれくらいの感じなのか分かりませんから。

【委員】

仕上がったところでどうですか。スペース的なものを見ていただいて、どういうものを出させていただくということを前向きに検討してもらおうと。

【企画課長】

3月の末にオープンのようなので、まだ皆さんの任期はもう一年ありますから、オープンした皆さんで一回見て、その後ここでまた話し合ってもいいわけですから。

【会長】

竜王駅というのはこの地域の人たちの乗降だけじゃ意味がない。

【企画課長】

南アルプス方面から竜王駅を使って通学者も多いんですね。

【会長】

シャトルバスの運行については、駅舎の完成と同時に即利用できるような、そういう検討も急いだ方がいいんじゃないですか。

【企画課長】

南アルプスは4月になれば高校生が進入しますから、そこで定期を買えるように3月の中旬くらいには決定をしたいと言っています。そうしないと定期バスを甲府駅まで買ってしまうのか、竜王駅まで買うのかとういことがあるようですから。

【会長】

この件につきまして、皆様方から活発なご要望、ご意見をいただきました。こういうものが3月24日に完成する予定でありますので、それまでには多目的利用についての更なる煮詰めができるようにご協力をいただきながら検討していくとよろしいでしょうか。

協議事項の①につきましては以上をもちまして議事を終了させていただきます。

5、報告事項

【企画課長】

ありがとうございました。それでは5番目の報告事項でございますけれども、総務課長が見えておりますので、②の竜王庁舎増築事業についてを先に報告をさせていただいて、若干の質疑があれば承りまして、その後に①③へ進んでいきたいと考えていますので、引き続き会長さんの進行でよろしくをお願いします。

【会長】

それでは説明をお願いします。

【総務課長】

初めまして総務課長の小宮山でございます。よろしくお願ひしたいと思ひます。私の方から総務課で工事しております竜王庁舎整備事業につきまして進捗状況等を報告させていただきたいと思ひます。

甲斐市の本庁舎となります竜王庁舎の事業につきましては、平成19年度、20年度に甲斐市庁舎増築事業等検討委員会を設置してございます。それらの委員さん方々から意見をいただきながら、庁舎増築事業等基本設計を基に平成20年度末に資料11ページにもあります、増築にかかる基本的な考え方が4点挙げてありますけれども、これらに基づきまして実施設計を行い、本年度

工事の発注となったものでございます。契約につきましては、新聞等にも出ておりますけれども25日契約議会におきまして議決をいただき工事の方に入って行く訳でございます。工事の内容につきましては、庁舎の建築主体工事、電気設備工事、機械設備という三分離発注という形を取っておりまして、工期的には平成23年2月までという工期で工事を進めていくわけでございます。今後12月12日の土曜日になりますけれども、起工式を行い、3月の工期を目指し工事を進めていくところでございます。ご理解をお願いしたいと思います。

(資料により説明：P11～19)

※補足説明

- ・南口駅前広場 自動二輪車置場2箇所、駐輪場484台、短時間駐車場16台
- 北口駅前広場 自動二輪車置場1箇所、駐輪場620台、短時間駐車場8台

【会長】

ありがとうございました。報告が終わりました。報告事項でございますので、ご質問がありましたらどうぞ。あれをこうしてくれ、これをこうしてくれという意見はもうできません。

【総務課長】

これはさっき言いましたように平成19年度、20年度庁舎検討委員会並びに公民館部分につきましては北部公民館の利用団体等の方々からご意見を伺うなかで方向付けをつけ、もうすでに工事発注を終わっているところでございますので、よろしくお願ひしたいと思います。

【委員】

調理室が随分小さくなってしまったんですね。

【総務課長】

この辺についても利用団体等のご意見を伺うなかで進めてますので、ここで大きい小さいと言われましてもお答えのしようがございませんのでよろしくお願ひしたいと思います。

【委員】

この中ホールというのは、普段はフローになっているんですね。何かフォーラムとか集会所かするときはパイプの椅子で並べてという形ですか。大体どれくらい200人位は入れるんでしょうか。

【総務課長】

以前の北部公民館の中ホールと同じようにステージが付いていて、面積的には前にあった中ホールと同じくらいの面積ですから200人いくかどうかでしょうね。

【委員】

新しくなったからって、使用料が高くなることは無いんでしょうか。

【総務課長】

それは平成23年4月1日からの使用でございますので、まだ1年ございますので、またこれから公民館利用団体等のご意見を伺うなかで使用料については検討して参ります。

【委員】

市は使用料を高くしたいんでしょうか。

【委員】

新しいからといってここだけ高いということはないでしょうね。

【総務課長】

それはもちろん南部もありますし中部もありますし、ここの施設が新しくなったから高くしようかという考えはないと思います。

【委員】

検討委員会に実際に利用している人が入っていたんでしょうか。

【会長】

入っていましたよ、3人入っていましたよ。

【委員】

調理室を使っていた人がいたのでしょうか。

【総務課長】

そうですね、入っていました。検討委員会には当然利用団体の代表者の方もいらっしゃいますし、その前の段階で教育委員会サイドがもっと本当の利用団体の代表者へ、いろいろな団体がありますよね、北部公民館を使っている利用団体、その代表の方々と教育委員会サイドで意見をまとめていただき、なおかつその意見を検討委員会へ反映させるということです。

【委員】

そういう方々が納得しているわけですね。

【会長】

納得というよりは、利用者団体との話し合いの方が多かったですよ、教育委員会は。

【総務課長】

教育委員会は細かく利用団体、いろんな料理をする団体、そこと協議をかけてこれくらいということですね。

【会長】

現在の北部公民館のスペースを下回ってはないという強い意見が出てますから、したがってスペース的に見まして平米は増えています。引き続き広報して参りましたので。

【総務課長】

これについては、工事の状況等は広報等でお願いしますし、検討委員会の内容等につきましては、市のホームページ等にも検討委員会の会議の結果等が出ておりますので参考にさせていただければと思います。

【会長】

ありがとうございました。続きまして①の報告につきまして石合リーダーをお願いします。

【事務局】

5、①国の補正予算に対する甲斐市の対応について

平成21年度、国の補正予算に対する甲斐市の対応ということで報告させていただきます。前自民党の政権下におきまして、経済不況打破に向けたおよそ16兆円に及ぶ大規模な補正予算が組まれました。様々な事業メニューが地方自治体に示されまして、地方における取り組みを要請されたところであります。甲斐市においては、安心・安全なまちづくりの構築を基本に、課題とされている事業、また緊急性等を考慮し、次の事業の実施を決定し予算化したところございます。9月の議会に提出いたしまして補正予算を組んでおります。

(資料7ページから10ページ説明)

※補足説明

1 防災行政デジタル無線

- ・最終的には親局1局、子局200局、個別受信機(指定避難場所)22箇所、個別受信機(難聴地区)178箇所 平成25年度の完成を目指し設計が行われています。

2 指定避難場所備蓄資材整備

- ・今回、これらの備蓄資機材を整備することにより、22箇所の指定避難場所への備蓄資機材が標準化いたします。

5 竜王赤坂地区活性化事業

- ・【目標】商標登録も視野に入れ事業に取り組んでいきます。

7 志麻の湯メタンガス分離装置設置事業

- ・メタンガスは地中にあるときは温泉内に溶け込んでおります。ポンプで汲み上げ圧力が下がりますと自然に温泉から湧き出しメタンガスが出てくる。濃度が5%以上になると爆発の危険性があります。平成19年6月に東京渋谷区で温泉の爆発事故があり、メタンガスが引き起こした爆発事故であります。

8 学校 ICT 環境整備事業

- ・【整備内容】 校内 LAN LAN とは配線のことです。

10 中学校武道場新築事業

- ・平成24年度から武道が必修科目になります。

11 双葉体育館改築工事

- ・建設場所は既存体育館の北側の市有地となります。

【会長】

今、石合リーダーの方から国の補正予算に対する甲斐市としての対応についての詳細に渡る説明をいただきましたけれども、お聞きになっておきたい部分がありましたらどうぞ。

特にございませんか、なければ③双葉スマートインターチェンジについて石合リーダーお願いします。

【事務局】

5、③双葉スマート・インターチェンジについて

(資料により説明：P20.21)

※補足説明

- ・市道登美団地大屋敷線の交差点から ETC 出入り口までの進入路は既存道路を拡幅整備しました。甲斐市だけでなく、甲府の方からも北口あたりから、愛宕町下条線が北口まで抜けますと一直線で来れますので、その辺での利用も非常に活発になるのではないかと、周辺地域の利便性がさらに高まるという期待もあるわけでございます。また、11月21日には開通セレモニーが行われました。

【会長】

ありがとうございました。最後の報告事項であります、③双葉スマート・インターチェンジについての内容については、いま石合リーダーの方からご説明いただいたとおりでございます。21日の日に開通式が行われました。一度あの辺を見ていただきますとですね、こんなに変わったっ

ていうくらい環境が変わっております。すっかり道路も整備されまして、びっくりするような環境になりましたので、と言いたいんですけども、どうも竜王地区の人は昭和インターの方が近いもんですから、わざわざここへ来て入りたいっていうのはよっぽど物好きだろうと言われても仕方ないでしょうけれども、ただこの利用はですね、逆に言いますと甲府駅の北口に住む住民の方々は、荒川の橋が開通しますとここへ一直線で来れるんですね。そういう意味ではこの利用率は非常に高いものをもっているだろうと思いますし、県外からおいでになる、特に商工会の会長にも言ったんですけども、その当時、やはたいものあれをやっていましたので、こういうイベントを商工会も積極的に継続的にやるといいですねと話を申し上げました。ぜひ私は竜王地区の商工会が奮い立って、竜王地区ばかりではだめだけど、甲斐市の商工会そのものがきちんとしたイベントを企画しながら誘客するという努力をなさると、まち自体に活力が感じられるんじゃないかなと思っております。この双葉インターチェンジも県外から来た人、ちょっと昇仙峡まで出ようかという気持ちにもなれるようなインターチェンジにしていって欲しいなと思っております。開通式に参加しましてそんなことを痛切に感じたものでございます。ぜひ一度見ていただいて、夜景もきれいですから、ちょっとあそこ行って食事しようと、ETCを通過しなくても足で入れますからね、駐車場もありますから、是非ご覧になっていただきたいなと思っております。以上をもちまして、協議、報告事項は全て終了させていただきます。

6、その他

【企画課長】

どうもありがとうございました。スムーズな進行、誠にありがとうございました。それでは6番目のその他に入ります。

【委員】

二点ありますけど、11月号の広報に犬猫はマナーを持って飼いましょう、というのを作っていただいております。できたらもう少し字を大きくして毎月載せていただけることを希望します。それが一点です。もう一点は、いま北部の調理室を見たら小さくてちょっとがっかりしたんですけども、ボランティア連絡会で配食、お弁当を作っている人たちに毎年春2月下旬か3月上旬頃、こっちへ招いて食事を出してるんですね。そうするとボランティアが作る方で30人くらい、こっちへ来ていただくのに車でその人達をお呼びするのに30人くらい、かなり大人数があるんですけど、30人の調理をしていただくのに、南部は調理台が4つ、中部が5つ、と小さいものですから、保健センターがたくさんあり9つかな、そこをぜひ開放していただきたいんですけど、そこが開放できるかどうか。それから多機能室が奥にあるんですけど、そこにブルーシートでも敷いて、そこで食事ができような状態、あそこはエレベーターがあるからすごく楽なんですよね。ぜひお願いしたいと思います。

【企画課長】

竜王の保健福祉センターはいま社協が入っています。2階の部分については健康増進課が所管

で管理しています。私も空いている日については調理室とか奥の部屋が一番広いわけですから会議ができないかということも伺っております。前に健康増進課にも話をしたんですけども、あそこは保健センターとして作られたものだから、今のところは貸出しはしないということになっていますけれども、皆様方のご意見があったということで、特に年一回昼食会ということで高齢者を招いて行っているということで、まったく民間という事業でもないわけですから、そういった内容であれば許可ができるような話は担当の方に見てみます。

【会長】

ちゃんと話をすれば健康増進課も、この前場所を変えましたけれどもね、防犯連絡協会の12月の年末における防犯の講習会をやるわけですけども、ちゃんと話をして借りることになったんですけども、椅子を並べると前が見えないので結局は別の場所へということで、中部を借りることになりました。舞台がありますからね。

【企画課長】

竜王保健福祉センターは、確か調理台が6つあるんですね、広いですからね。また言っておきます。結果どうなるか分かりませんが。

それ以外にその他よろしいですか。今日は貴重なご意見もいただきまして、これが最後とわけではありませんので、当然3月末に完成をいたしますので完成いたしましたら、また皆様と見学をして、帰った後にあんなこともできるのではないかと、こんなこともいいんじゃないかという事のご提言をいただきたいと思います。今日は長時間に渡りましてありがとうございました。

7、閉会

【企画課長】

最後にあいさつをして閉会としたいと思います。

「相互に礼（お疲れ様でした、ありがとうございました。）」